

# 完了後の評価個表

整理番号 森4-1

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	広島県
ふりがな 地域(地区)名	しょうばらし 庄原市	事業実施主体	広島県、庄原市、備北森林組合等
関係市町村	庄原市	管理主体	庄原市、備北森林組合等
事業実施期間	平成17年度～平成21年度（5年間）	完了後経過年数	5年
事業の概要・目的	<p>① 位置等 庄原市は、広島県の北東部に位置し、岡山県、鳥取県及び島根県と境を接しており、北部の県境周辺部は1,000m級の山々に囲まれ、急峻で狭い地形となっている。 総面積は広島県内市町最大の124,660ha、うち84%が森林となっており、県内有数の林業地帯である。</p> <p>② 森林の状況 本地区の森林面積は104,960ha、そのうち人工林が43,575haであり、間伐等の森林整備が必要となるⅢ齢級からⅧ齢級の森林が約36%占めている。 また、地区内の森林のうち、水源かん養保安林に31,984ha、土砂流出防備保安林に1,898haが指定されており、約93%が水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林に区分されている。 このため、森林の持つ水源涵養機能等の公益的機能を高度に発揮させるための森林整備の実施が期待されている。</p> <p>③ 本地区を整備する目的・意義 本地区においてはこれまでに43,575haの人工林が造成され、森林蓄積は着実に増加しているものの、保育・間伐等が必要な森林も多く、森林所有者等の森林整備に対する意欲の低下等による森林整備の遅れが懸念される。 このため、森林整備を効率的に実施するための基盤となる路網を整備し、林業労働の軽減及び森林施業コストの低減を図り、公益的機能の高度発揮や適正な資源管理のための森林整備を行ったものである。</p> <p>(事業概要) 森林整備 植栽 153ha、下刈 1,596ha、除・間伐 5,308ha</p> <p>林道整備 ① 界谷小峠その2線 車道幅員 4.0m 開設延長 541m 利用区域面積 388ha ② 河内高野線 車道幅員 4.0m 開設延長 120m 利用区域面積 211ha</p> <p>総事業費 8,674,914千円 (当初総事業費 12,342,172千円)</p>		
① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成27年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>総便益(B) 47,447,484千円 (事業採択時 94,099,453千円) 総費用(C) 8,675,467千円 (事業採択時 12,342,172千円) 分析結果(B/C) 5.47 (事業採択時 7.62)</p>		
② 事業効果の発現状況	<p>① 本事業で植栽されたスギ・ヒノキの成長は良好で、間伐等を行った箇所とともに健全な針葉樹林として育成されており、近隣の広葉樹林の整備とともに、水源涵養機能等の公益的機能の高度発揮が期待される森林が整備された。</p> <p>② 林道開設により、利用区域内森林の施業コストの縮減が図られた。地区内の木材生産量は平成26年度には約40,000m<sup>3</sup>となり、平成21年度の2.5倍に増加した。</p>		
③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>本事業により開設された林道は、庄原市により適切に管理されている。 また、本事業で整備された森林は、地元森林組合及び林業に意欲のある森林所有者により適切に維持管理がなされている。</p>		
④ 事業実施による環境の変化	<p>森林整備の実施により、林内の明るい単層林や複層林が整備され、森林の景観が向上してきている。</p>		
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>林道整備により、森林施業地までの到達時間の短縮や高性能林業機械の利用等が可能となったことで、林業労働の軽減、森林施業コストの低減が図られ生産性が向上した。</p>		

<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>森林整備は推進されてきているが、木材価格の低迷等により主伐後の再生林の実施が十分とは言えない状況であることから、森林所有者に対する啓発等を行い、適切な資源循環整備による木材の安定供給を図る必要がある。</p>
<p>評価結果</p>	<p><b>【必要性】</b>          本事業の実施後は、土砂流出の防止、水源涵養機能等の公益的機能の高度発揮に寄与するなど、本事業の効果が発揮されていること。また、森林の整備及び基盤となる林道の整備が総合的に実施されていることから、事業の必要性が認められる。</p> <p><b>【効率性】</b>          森林整備及び林道整備の実施にあたっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法を検討しており、事業コスト縮減に努め、総事業費の削減が図られたことから、事業の効率性が認められる。</p> <p><b>【有効性】</b>          林道整備により森林整備を実施するコストも縮減されることから、今後も事業効果の発現が見込まれ、適切な森林整備の実施により、公益的機能の高度発揮が期待される森林が増加していることから、事業の有効性が認められる。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

都道府県名: 広島県

地域(地区)名: 庄原市<sup>しょうばらし</sup>

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	12,468,908	
	流域貯水便益	4,304,693	
	水質浄化便益	10,794,896	
山地保全便益	土砂流出防止便益	18,470,364	
	土砂崩壊防止便益	6,256	
環境保全便益	炭素固定便益	621,735	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	1,055	
	木材利用増進便益	1,478	
	木材生産確保・増進便益	25,423	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	197	
	森林管理等経費縮減便益	9,466	
	森林整備促進便益	743,013	
総 便 益 (B)		47,447,484	
総 費 用 (C)		8,675,467	
費用便益比	$B \div C = \frac{47,447,484}{8,675,467} = 5.47$		

# 森林環境保全整備事業 庄原市地区 概要図【広島県】

